

議題提案書・詳細

議題名：G7広島サミットにおける政府と市民社会の連携に関する成果と課題

議題提案者：堀内葵

提案者の所属：G7市民社会コアリション2023 / 特定非営利活動法人国際協力NGOセンター

目次：

背景	2
総論	2
連携の成果	3
課題	4
1) (総論) サミット開催にあたって	
2) エンゲージメントグループの位置づけについて	
3) C7政策提言書の手交について	
4) C7サミット開催準備および実施について	
5) 国際メディアセンター (IMC) について	
6) NGOスペースについて	
【資料編：プレスリリース】	9
【資料編：NGOスペース活動一覧】	10
【資料編：報道採録 (抜粋)】	12

【背景】

- 2023年5月に開催されたG7広島サミット首脳会合および関連閣僚会合に向けて、地球規模課題の解決に向けて活動する国内外の市民社会組織による政策提言が行われた。グローバルには、2021年ごろから制度化されてきた「C7（Civil7）」という世界中の市民社会組織が参加するプラットフォームがあり、B7（Business7）、L7（Labour7）、S7（Science7）、T7（Think7）、W7（Women7）、Y7（Youth7）と並んで、G7の公式エンゲージメントグループとして位置付けられている。
- 2021年のコーンウォール・サミット（議長国：イギリス政府）、2022年のエルマウ・サミット（議長国：ドイツ政府）の際に、C7は「C7サミット」を開催し、政策提言書（コミュニケ）をG7議長に直接届けてきた。2022年にはドイツのショルツ首相がC7サミットに登壇し、市民社会との対話を行った。
- 日本では、2022年5月に「G7市民社会コアリション2023」が設立され、2030アジェンダが掲げる「誰ひとり取り残さない社会」の実現にG7サミットが貢献できるように、議長国である日本政府を含むG7各国政府に働きかけることを目的とし、政策提言書の作成、日本政府との面会、他のエンゲージメントグループとの連携、C7サミット開催、首脳会合開催時の記者会見の実施などの活動を行ってきた。2023年7月末現在、122団体、78名の個人が会員として参加している。

【総論】

- G7広島サミットにおける政府と市民社会（C7）との連携においては、過去事例・教訓に鑑みて改良された点も多く、政府側の前向きな対応、準備・開催期間中における資金的、多大な人的サポートに深く感謝申し上げたい。
- 他方、過去および今般C7が行った申し入れに関わらず改善が見られなかった点もあり、近年の国際社会におけるG7の位置づけの変化に鑑み、G7で合意される政策・制度や発信されるメッセージが、真に「誰ひとり取り残さない社会」を実現するものとするには、C7を始めとする広範で多様な視点を有するエンゲージメントグループとの一層の有機的連携、とりわけ有効な政策・制度に関する議論と共創を深めていくことが必須である。
- 本議題では、G7広島サミットにおける政府と市民社会（C7）との連携に関する成果と課題を取り上げ、今後、日本で開催されるサミットに向けた改善策を提案するものである。

【連携の成果】

- 「G7市民社会コアリション2023」が日本C7の事務局機能を果たし、国内外の市民社会組織から200名が参加したC7サミットを4月13・14日に東京で開催することができた。また、C7サミット開催に先立ち、C7代表団10名が今年のG7議長を務める岸田文雄総理大臣を訪問し、C7政策提言書を手交した。C7サミットには山田賢司外務副大臣が出席の上、C7政策提言書を手交することができた。また、中村和彦サブシェルパおよび三村淳財務省国際局長と市民社会代表によるG7サミットの主要議題と市民社会からの提言について、幅広い議論を行うことができた。
- 首脳会合の期間中、NGOが活動する拠点として広島市青少年センターに設置された「NGOスペース」において、合計50を超える記者会見、ワークショップ、映画上映、アクション、展示などを行った。NGOスペースでの活動一覧は後述の通り。
- G7のエンゲージメントグループによる共同記者会見のほか、C7としての記者会見は7回開催し、国内外の多数のメディアに取材され、報道がなされた。C7のプレスリリースと報道は後述の通り。



C7政策提言書を岸田総理に手交するC7代表団
 (2023年4月12日、Photo by ソー写ルグッド / 宿野部隆之)

【課題】

1) (総論) サミット開催にあたって：

- **サミットの開催時期について**：例年、首脳会合は6月中旬から下旬にかけて開催される。しかし、日本では、伊勢志摩サミットが2016年5月26日・27日、広島サミットが2023年5月19・20・21日と、他の議長国期間と比べ、1ヶ月以上早く開催されている。このため、市民社会としても政策提言書の作成などの準備期間を確保することが難しく、また、政府にとってもエンゲージメントグループを含む幅広い主体との連携や対話の機会を逸することになる。次回の日本開催の際は、準備期間を確保した日程を希望する。
- **サミットの主要議題について**：G7広島サミットの主要議題は2023年1月の議長国就任時点や3月のシェルパ会合開催時点、NGO・外務省定期協議会「第3回ODA政策協議会」（3月20日開催）においても発表されなかった。首脳会合開催まで2ヶ月を切った時点でも公表されないことで、エンゲージメントグループを含む各主体による政策提言作成の際、どの課題に焦点を絞るべきかについて困難が生じた。**次回の開催時には、サミット主要議題の公表は議長国就任と同時とするよう要望する**。特に、シェルパ会合でのエンゲージメントグループとの対話は大変重要な機会であるため、主要議題の詳細と十分な準備期間を確保すべきである。
- **公式ロゴの扱いについて**：G7市民社会コアリション2023は、2022年9月に、1) 日本およびG7各国において普遍的に認識されるユニバーサル・デザインに配慮したものとすること、2) 市民社会を含む公式エンゲージメントグループ（ビジネス、市民社会、労働、科学、シンクタンク、女性、若者）での使用も想定し、それぞれのアルファベットの頭文字をあしらうことのできるようなロゴマークを作成することを、「[G7広島サミット公式ロゴマーク選定についての要望](#)」としてG7広島サミットロゴマーク審査委員長、外務大臣、G7広島サミット事務局長に提出した。しかし、その後公表された公式ロゴについて、日本政府からは著作権保護のため、エンゲージメントグループでの援用は認めない旨の回答があった。要望書にも記載した通り、他の議長国ではロゴの援用を認め、統一したデザインでサミットの広報を行っていることを踏まえると、今後は改善を要望したい。

2) エンゲージメントグループの位置づけについて：

- G7広島サミット公式ウェブサイトには当初、エンゲージメントグループの紹介ページがなく、2023年3月以降、民間団体による首相表敬訪問が実現した以降は「トピックス」として紹介されるようになった。しかし、その際に「**エンゲージメントグループとは何か**」という説明がなく、**十分な周知徹底がなされたとは言い難い**。過去の議長国は、エンゲージメントグループの説明をしっかりと行なった上で、対話を行っていたことを踏まえると、サミットに関する情報発信の点で改善が必要である。
- G7首脳コミュニケではエンゲージメントグループへの言及は末尾に1箇所あるのみであった。加えて、昨年のエルマウ・サミットでは「**G7のエンゲージメント・グループ**」

であるB7（ビジネス）、C7（市民社会）、L7（労働）、S7（科学）、W7（女性）及びY7（若者）による、我々の討議に対する重要なインプットに感謝する。」と言及されていたが、今年のコミュニケでは「G7のエンゲージメント・グループとの交流及び同グループからのインプットに感謝する」とだけ言及されており、個別のエンゲージメントグループに言及した昨年のコミュニケと比べると後退している、との印象を与えかねない。また、前述の通り、公式ウェブサイトにエンゲージメントグループの説明がなされていないため、この言及だけでは読者に意味が伝わらないことを憂慮する。

3) C7政策提言書の手交について：

- 4月12日にC7サミット代表団が首相官邸を訪問し、C7政策提言書を岸田総理に手交し、約20分間に渡って意見交換を行うことができた。また、官邸訪問を実現するにあたり、民間援助連携室の皆様のご尽力にも感謝。
- 一方、岸田総理は、C7サミットには欠席したが、B7サミットには登壇し、Y7サミットにはビデオメッセージを寄せた。エンゲージメントグループによって異なる対応をすることは不適切であり、改善を要望する。

4) C7サミット開催準備および実施について：

- 海外からC7関係者15名の招聘、C7サミット会場、日英の同時通訳、オンライン配信にかかる費用を外務省から全面的に支援いただけたことに感謝。また、ビザ取得が必要なC7関係者に対して現地大使館による迅速な審査の便宜をいただいたことにも感謝。特にイベント実施業者に入ってもらえたことで、会場や同時通訳者とのロジ面での調整を依頼することができ、C7側はよりプログラムの内容面での準備に注力することができた。また、技術的な面でもハイブリッドかつ同時通訳の入った配信というのはプロの業者でなければ困難だが、経験豊富なフロアディレクターが配置されたことで、当日の運営もスムーズであった。
- 一方、公示の時期や予算年度の関係で、3月中旬まで実施業者ならびに会場が確定しなかったため、C7サミットプログラム編成や宿泊手配などのロジ面において開催準備が滞ってしまい、4月中旬の対面での開催まで非常に短い準備期間しか確保できなかった。特に、政府招聘者の航空券手配が3月中には行われず、4月1日以降でなければ受託業者による購入ができなかったことや、すでに先約が入っていたために車椅子使用者の宿泊場所が他の招聘者と同じ場所で確保できず、近隣のホテルに宿泊していただくことになったこと、当初、政府招聘者の海外旅行保険について、C7期間中しか認められない旨の連絡が業者よりあったことは、ロジ面での改善点として強調しておきたい。なお、海外旅行保険については、C7側からの要請により、日本滞在中のすべての期間が対象となった。

5) 国際メディアセンター（IMC）について：

- G7サミット首脳会合について世界中のメディアが報道を行う拠点となる国際メディアセンター（IMC）へのアクセスについては、エンゲージメントグループの一員としてC7にも認められた。アクセスパスは最終的に38枚が発行され、取得に向けて民間援助連携室がG7サミット事務局やパス発行センターとの調整に尽力してくださったことに感謝。メディア向け案内にNGOスペースの地図が紹介されたり、会場内でも案内があったりと、7年前のG7伊勢志摩サミット開催時からの改善は見られ、市民社会が各国メディアの取材を受けたり、情報提供を円滑に行うことができた。
- 他方で、IMC内でのエンゲージメントグループの扱いについては大きな課題が残った。当初から要望していた「メディア関係者が活動する場所において、記者会見を行いたい」という点は実現されず、後述するようなエンゲージメント・グループ側から見れば不可解な対応が行われた。
- メディア向けの配布物（バッグなど）について：ネームタグの色が異なるという理由からエンゲージメントグループには配布されなかった。「小さなことかもしれないが、同じ扱いを受けていない。エンゲージメントグループが軽視されている」というコメントが、NGO関係者から振り返りの際になされた。過去の例では、2015年のドイツG7エルマウ・サミットや2018年のアルゼンチンG20ブエノスアイレス・サミットでは配布先を分けていた事実はない。
- アクセスパスの発行数および申請期限について：C7に割り当てられるIMCのアクセスパスの数については、当初より、過去実績等に基づいて「100枚程度」との要望を伝えていたが、4月7日、当初の申請締切までに10日しかない時点で、30に限る旨が通達された。最終的には調整を経て38人の申請が認められたものの、C7の各ワーキンググループ代表および事務局や共同代表に加え、C7運営委員、国内の各分野の専門団体や、地元広島市民社会の代表を含めると、30人は必要数に足りなかったと言える。また、選定のプロセスについても、約一週間で30人に絞る調整をしつつ、申請に必要な個人情報（写真やパスポートコピーデータ等）をC7事務局で世界中の取得希望者から収集・確認し、アップデートすることは非常に大きな負荷がかかった。また、実務・システム面でも、団体申請時に必要な情報を入力しているにも関わらずシステムエラーが発生したために、スムーズな申請が行えなかった。メディアに対しては多数のパスが発行されていたことを考慮すると、エンゲージメントグループを尊重するのであれば、発行数及び申請期限の改善を要望する。
- IMC関連文書配付の時期について：IMCおよびNGOスペースの利用の「注意事項同意書」が送付されたのが5月15日の14時台、さらに詳細について記された「ハンドブック」の送付が、IMC開設のわずか2日前、5月16日の12時台であった。C7事務局およびNGOスペースへの各参加団体も準備に追われる中、内容について周知徹底するには十分な時間があつたとは言えない。そのため、事前に外務省担当課室との間で疑問点などを相談・解消し、また、後述する掲示・配布物に関係するような、重要情報を参加団体に周知するためにも、今後は十分な時間を持った情報提供を要望する。
- アクセスパスの受け取りについて：エンゲージメントグループはIMCが設置される広島グリーンアリーナで活動することが想定されていたにもかかわらず、パスの受け取りは最寄りのリーガロイヤルホテルではなく、広島電鉄を利用して元宇品口駅での受け取りが指定されていた。IMCでの活動を想定しているのであれば、メディア関係者と同一場

所での受け取り手配ができたはずである。サミット期間中の交通規制を考慮すれば、なるべく移動距離が少なくなるような受け取り手配を希望する。

- **IMC内での掲示・配付物の設置方法および事前内容チェックについて**：IMC内でのエンゲージメントグループによる情報発信は、「NGOコーナー（机と掲示版）」に設置する資料およびポスターを事前に内容を外務省側に知らせたうえ、NGOスペースに詰めている民連室担当者を通して渡す旨が民間援助連携室より伝えられた。記者会見やメディア向けアクションなど、NGOスペースおよびIMCの利用団体による企画の数が多いことと期日が迫っていることから、民連室担当者との間では、「G7市民社会コアリション2023のウェブサイトに記載している企画内容と同等のチラシ・ポスターが想定されるため、サイト記載のチラシを確認いただくこと」で合意し、掲示物は、C7事務局を通して民連室に渡すことを利用団体にも通知した。一方、5月19日午後になって、「事前に外務省側が把握していないチラシが設置されていた」との理由により、NGOコーナーの机および掲示版が撤去される事態が発生した。当初、その理由について外務省側から通知されず、5月21日午後にサミット事務局担当者からの電話で明かされることになり、その間、IMCアクセスパス保持者およびNGOスペース利用に対して情報提供を行うことができなかった。本件について、以下の改善提案を行う。

1. 本来、IMC内にNGOが記者会見を含む情報発信ができるスペースが確保されることが望ましい。サミットの幅広い関係者の声を反映させるというエンゲージメントグループの意義を踏まえれば、国内外メディアと同じスペースでの活動が確保されるべきである。
2. エンゲージメントグループによる掲示物やチラシについて、内容面でもプロセス面でも、外務省のチェックを経ることなく、エンゲージメントグループ側の自律的な判断において設置が行えるべきである。
3. 特に、内容面の確認については、ハンドブック等に記載の「不正確」であることの判断基準が曖昧である。政府にとって不都合な見解や異なる意見等が排除されかねない、いわば「検閲」ではないか、との懸念も惹起しかねず、捉えられようによっては、「法の支配に基づく自由で開かれた国際秩序を守る」ことを標ぼうする日本政府に対する国際社会の信頼にも影響し得るのではないかと懸念される。また、実務面においても、G7開催を前に繁忙期にある政府担当部局が、エンゲージメント・グループが持ち込む資料を客観的基準に基づいてレビュー・確認する時間・人的資源を確保し、その判断の説明責任を担保することは非現実的である。
4. 以上より、IMCでのエンゲージメントグループの活動、および政府との連携の在り方については、独立した市民社会と政府との信頼関係に基づき、関連するルールやガイドラインの抜本的見直しをお願いしたい。見直しにあたっては、ぜひエンゲージメントグループ関係者と意見交換・調整する場を設けていただきたい。今般の経験・教訓の記憶が新たなうちに、速やかに改訂することを要望する。

6) NGOスペースについて：

- **広島市青少年センター**：NGOスペースとして確保された同センターは、IMCの近距離内の公共施設としては、ほぼ唯一の選択肢だったのではないかと想定される。4つの部屋と展示スペースやアクションスペースを確保していただいたことに感謝。一方で、NGOスペースとして利用した2階までのエレベーターがないことで、搬入出時、大型荷物をすべて階段で運ぶ必要があった。また、記者会見の登壇者に車椅子利用の方がおり、かなり

無理をして階段で移動してもらうことを余儀なくされた。ユニバーサルアクセスという観点からも、メディアセンターとNGOスペースが同じ会場であることが望ましい理由の一つである。インターネットと電源については、追加の臨時設置がされたことで、当日の利用に支障はなかった。

- **屋外アクション実施場所について：**途中の打合せ段階では、青少年センターのすぐ北側の芝生エリアでアクションが可能な見通しとの情報であったが、直前になって、ゲートパーク内商業施設の臨時搬入路が同エリアを横切するため、車両事故リスク等安全面から許可できない旨が通達された。広島市都市整備局の担当とやり取りし、最終的には、センターの入口横のスペースで、最大1時間弱であれば可能、ということになったが、それまでの過程で、ゲートパークの大半を外務省が企業展示等用に借り上げている一方、全ての詳細情報が民間援助連携室に共有されているわけではないため、広島市と外務省双方に問い合わせを繰り返す必要が生じた。また、アクションの実施可否が首脳会合の開催2日前まで固まらなかったことで、屋外アクションを予定していた団体の活動計画にも支障が生じた。

【資料編：プレスリリース】

G7広島サミット前日エンゲージメントグループ共同記者会見「核兵器廃絶へ向けた具体的な進展を」（2023年5月18日）

<https://g7-cso-coalition-japan-2023.mystrikingly.com/blog/230518-ngospace-eg-pressrelease>

G7広島サミット開幕：格差分断の解消に向けて行動を（2023年5月19日）

<https://g7-cso-coalition-japan-2023.mystrikingly.com/blog/230519-ngospace-c7-pressconference>

G7広島サミット2日目／気候課題およびしなやかで開かれた社会への提言（2023年5月20日）

<https://g7-cso-coalition-japan-2023.mystrikingly.com/blog/230520-ngospace-c7-pressconference>

G7広島サミットは「雨」市民社会が総括 せめて「曇り空」に、願わくば「晴れ」に（2023年5月21日）

<https://g7-cso-coalition-japan-2023.mystrikingly.com/blog/230522-ngospace-c7-pressconference>

【声明】G7広島サミットでも保健の成果文書発表：C7（市民7）国際保健ワーキング・グループ、これら进行评估する第1次声明を発表（2023年5月21日）

<https://g7-cso-coalition-japan-2023.mystrikingly.com/blog/230521-gh-statement>



エンゲージメントグループ共同記者会見の様子（2023年5月18日）



G7首脳宣言発表を受けたC7記者会見の様子（2023年5月21日）

【資料編：NGOスペース活動一覧】

(1) 記者会見

5月18日（木）

15:00-16:30	エンゲージメントグループ共同記者会見（B7,C7,L7,P7,S7,T7,W7,Y7）
-------------	---

5月19日（金）

10:00-11:00	G7サミット冒頭記者会見「G7広島サミット最大の焦点『国際保健』=健康危機から人々の命をどう守るか：新型コロナの教訓と様々な保健課題」（C7国際保健ワーキンググループ）
11:00-12:00	気候変動・エネルギー関連NGO記者ブリーフィング（英語）
12:00-13:00	気候変動・エネルギー関連NGO記者ブリーフィング（日本語）
13:00-14:00	Pride7およびWomen7による合同記者会見
14:00-15:00	Hiroshima's Historiographersから見たG7広島サミット2023について
15:00-16:00	G7首脳への緊急要請－世界の23人に1人が人道支援を必要としている（C7人道支援と紛争ワーキンググループ）
16:00-17:00	Civil7による記者会見（国際保健、経済課題）
17:00-18:00	みんなでつくろう 紛争下の教育×平和のアート（教育協力NGOネットワーク）
18:00-19:00	1日の振り返り会議（G7市民社会コアリション2023）
19:30-20:30	広島県内被爆者団体共同記者会見（ピースボート、ANT-Hiroshima）

5月20日（土）

11:00-12:00	G7広島サミット首脳に対し、中国の圧政下にある諸民族による訴えと中国への対処の要望（スチューデント・フォー・フリー・チベット・ジャパン）
12:00-13:00	～環境・貧困・戦争～ 危機こそ 変革のチャンス！ 市民ソーシャルビジネスは最高のSDGs だれひとり取り残さない！ 広島県民ぜんぶで 公益スタートアップ（平和創造クラブ「ひまわり」）
	W7他エンゲージメントグループのコミュニケについて学ぶ（W7）
13:00-14:00	ウイグルジェノサイドを終わらせよ！G7は早急な行動を！ウイグル問題に関する記者会見（日本ウイグル協会）
14:00-16:00	記者会見・交流会「西サハラ問題を訴えて40ヶ国4.8万キロを自転車でもわるスウェーデンの活動家がG7広島サミットに訴えます」（アフリカ日本協議会・西サハラ友の会）
14:00-15:00	移住者が抱える労働課題（日本ポリビア人協会）
16:00-17:00	Civil7による記者会見（気候・環境正義、しなやかで開かれた社会）
17:00-18:00	水銀に関する水俣条約の進展を阻んでいる？（クリーンライティング連合日本）
18:00-19:00	1日の振り返り会議（G7市民社会コアリション2023）

5月21日（日）

10:00-11:00	G7首脳宣言に対するC7緊急記者会見（日本語）
11:00-12:00	NGO共同記者会見「緊急要請：難民・移民の権利保障こそが日本が目指すべき道」（アジア太平洋難民の権利ネットワーク、全国難民弁護団連絡会議、認定NPO法人ヒューマンライツ・ナウ、NPO法人RAFIQ）
12:00-13:00	G7サミット最終日記者会見「G7首脳宣言はパンデミック・国際保健政策で世界の期待に応えられたか」（C7国際保健ワーキンググループ）
13:00-14:00	気候変動・エネルギー関連NGO記者ブリーフィング
14:00-15:00	記者会見（Pride 7 & Women 7）
15:00-16:00	G7首脳宣言に対するC7記者会見（英語）
16:00-17:00	サーロー節子さんおよびICANによる記者会見（ICAN）
17:00-18:00	子どもの権利とウェルビーイング（PIECES）
18:00-19:00	1日の振り返り会議（G7市民社会コアリション2023）

(2) イベント（映画上映、勉強会、パフォーマンスなど）

5月19日（金）

10:00-11:00	映画「ジグデル～恐怖を乗り越えて～」上映
11:00-12:00	折り鶴プロジェクト（SDGs市民社会ネットワーク地域ユニット）
13:00-14:00	映画「自由と人権を求める人々の叫び ウイグル編」上映
14:00-15:00	ゲスト対談「私たちの社会を良くする作戦会議～ポリシーメイキングに影響を与えるための戦略～」（オシンテック）
17:00-18:00	勉強会「世界の一次情報を活用したEvidence-based advocacyを行うには～Global Southを例に～」（オシンテック）

5月20日（土）

10:00-12:00	ウイグルジェノサイドを終わらせよ！G7は早急な行動を！ウイグル問題に関する証言集会（日本ウイグル協会）
10:00-11:00	パフォーマンス「Eyeと愛で繋げよう！心の世界」（視覚障害者団体BLINDクリエイター【お好みーズ】）
11:00-12:00	映画「ジグデル～恐怖を乗り越えて～」上映
17:00-18:00	勉強会「世界の一次情報を活用したEvidence-based advocacyを行うには～核軍縮を例に～」（オシンテック）
19:00-20:00	映画「自由と人権を求める人々の叫び ウイグル編」上映

5月21日（日）

12:00-13:00	映画「ジグデル～恐怖を乗り越えて～」上映
-------------	----------------------

14:00-15:00	映画「自由と人権を求める人々の叫び ウイグル編」上映
19:00-20:30	\ 市民社会速報 / G7広島サミットどうじゃろ!?(G7市民社会コアリション2023)

5月19日(金)～22日(月) 各日

17:00-18:00	生配信「ヒロシマサミットアクション～核兵器のない世界を次世代へ 私とあなたにできること～」(カクワカ広島)
19:30-20:30	G7広島サミットを現地から生配信!ー「核なき世界」に前進できるか(ピースポート)

(3) アクション**5月19日(金)**

11:00-12:00	パフォーマンス「SDGs折り鶴プロジェクト:誰ひとり取り残さないSDGsの実現に向け、G7に私たちの声を届けよう」(SDGs市民社会ネットワーク地域ユニット/G7市民社会コアリション2023)
12:00-13:00	Pride7およびWomen7によるスタンディング・パフォーマンス
18:00-21:00	G7広島サミットに合わせ、平和へのメッセージを光で描くライトペインティングアクション(グリーンピース・ジャパン)

5月20日(土)

12:00-13:00	Pride7およびWomen7によるスタンディング・パフォーマンス
16:00-17:00	ウイグル問題に関する屋外アクション(日本ウイグル協会)

5月21日(日)

11:00-12:00	ウイグル問題に関する屋外アクション(日本ウイグル協会)
12:30-13:00	難民・移民に関する屋外アクション(RAFIQ)
15:00-16:00	カクワカ広島緊急アクション

【資料編：報道採録（抜粋）】

▼中国新聞

2023年5月22日 核やLGBT「失望」 NGOやNPO 声明を低評価

<https://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=132743>

2023年5月22日 社説「広島サミット閉幕 具体的な行動求められる」

<https://www.chugoku-np.co.jp/articles/-/308841>

2023年5月26日 人権・気候変動対策に議長国の責務 市民社会との協調欠かせず【広島サミットを終えて】⑤

<https://www.chugoku-np.co.jp/articles/-/311008>

2023年6月5日 核軍縮の文言後退 サミットは期待外れ ICANのホグスタ暫定事務局長

<https://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=133247>

▼朝日新聞

2023年5月18日 G7首脳へ伝えたい 市民団体「様々な属性の人たちの声反映して」

<https://digital.asahi.com/articles/ASR5L66RNR5LPTIL00X.html>

2023年5月21日 G7首脳声明、国際保健の課題解決に向け危機感も NPOなど会見

<https://digital.asahi.com/articles/ASR5P64YGR5PUTFL004.html>

2023年5月21日 「広島でこれだけしか書けないか」 G7声明にサーロー節子さん失望

<https://digital.asahi.com/articles/ASR5P6QKGR5PPPTIL00T.html>

2023年5月23日 広島サミット、声あげた若者たち 感じた「もどかしさ」、手ごたえも

<https://digital.asahi.com/articles/ASR5Q74CKR5KPITB012.html>

2023年5月25日 ビジョン見えず 新たなヒロシマ生まないためには ICAN事務局長

<https://digital.asahi.com/articles/ASR5R6RSGR5NPLZU005.html>

2023年6月12日 G7広島サミット、SDGs視点で見た成果は？ 市民社会の評価は「雨」

<https://www.asahi.com/sdgs/article/14923717>

▼毎日新聞

2023年5月18日 「核抑止を認めないで」広島の被爆者ら、G7サミットに向け訴え

<https://mainichi.jp/articles/20230518/k00/00m/040/310000c>

2023年5月20日 広島ビジョンにICAN「核軍縮、価値ある成果には程遠い」

<https://mainichi.jp/articles/20230520/k00/00m/040/156000c>

2023年5月21日 性的少数者の権利 「前向きな声明を」 市民団体がアピール /広島

<https://mainichi.jp/articles/20230521/ddl/k34/010/225000c>

2023年5月21日 核廃絶への道どこに G7広島サミットに被爆者ら「大変な失敗」

<https://mainichi.jp/articles/20230521/k00/00m/030/220000c>

2023年5月21日 世界的飢餓への財政支援を歓迎 国際NGO、G7首脳宣言に

<https://mainichi.jp/articles/20230521/k00/00m/030/183000c>

2023年5月23日 ワクチン格差巡るG7首脳声明は「不十分」 NGOなどが批判

<https://mainichi.jp/articles/20230523/k00/00m/030/208000c>

2023年5月26日 サミット 広島で開いた意味はあったのか：田中美穂・核政策を知りたい広島若者有権者の会（カクワカ広島）共同代表

<https://mainichi.jp/premier/politics/articles/20230526/pol/00m/010/017000c>

連載 カクワカ広島・サミット報告

<https://mainichi.jp/g7-hiroshima/kakuwaka/>

連載 私からG7へ・広島サミット

<https://mainichi.jp/g7-hiroshima/watashi/>

▼読売新聞

2023年5月21日 カナダ在住の被爆者サーロー節子さん「広島で開いた意味がない」…G7首脳
声明を批判

<https://www.yomiuri.co.jp/national/20230521-OYT1T50095/>

▼産経新聞

2023年5月21日 被爆者のサーロー節子さん、サミットに苦言 「リーダーたちの思い感じられない」

<https://www.sankei.com/article/20230521-AHSMRRNCTVPCHA7PAIHXTIQVAM/>

▼東京新聞

2023年5月22日 「被爆地が踏みにじられた」 核廃絶を求めるNGO・ICANの川崎哲氏が挙げた
広島ビジョンの問題点

<https://www.tokyo-np.co.jp/article/251475>

▼しんぶん赤旗

2023年5月22日 核兵器 気候危機 飢餓… 「G7は失敗した」 市民社会 存在問う声

https://www.jcp.or.jp/akahata/aik23/2023-05-22/2023052203_01_0.html

▼NHK

2023年5月19日 国際報道2023 サミット直前 核兵器禁止に向けた思い

https://plus.nhk.jp/watch/st/g1_2023051924478

2023年5月22日 NHK広島NEWS WEB G7 ICAN川崎氏「とても失望」

<https://www3.nhk.or.jp/lnews/hiroshima/20230522/4000022412.html>

2023年5月22日 クローズアップ現代「密着！G7サミット ヒロシマの思いは届いたのか」

<https://www.nhk.jp/p/gendai/ts/R7Y6NGLJ6G/episode/te/GNYZ1K694Q/>

2023年5月27日 NHK広島コネクト「検証!G7広島サミット」

<https://www.nhk.jp/p/ts/L1Z6VNNQ6P/episode/te/DY2W6L61Z7/>

言わせて！G7「もし あなたがG7に参加できるなら何を言いたい？」

<https://www.nhk.or.jp/hiroshima/g7/iwasete/movie/>

▼広島ホームテレビ

2023年5月20日 G7広島サミット ゼレンスキー大統領参加に被爆者は。。。。

https://www.home-tv.co.jp/news/content/?news_id=20230520208055

2023年5月21日 首脳文書に怒り…サーロー節子さん「体温が全然感じられない」

https://www.home-tv.co.jp/news/content/?news_id=20230521208101

▼TBSラジオ

2023年5月22日 特集「広島取材報告Part1～被爆者がみたG7サミット」小倉桂子×切明千枝子
×荻上チキ×南部広美

<https://www.tbsradio.jp/articles/70204/>

2023年5月23日 特集「広島市民や市民団体が見たG7サミット～荻上チキの取材報告」

<https://www.tbsradio.jp/articles/70236/>

<写真と音声で振り返る>G7広島サミット、荻上チキの取材報告

<https://www.tbsradio.jp/articles/70272/>

▼セイジドウラク（ポッドキャスト）

2023年5月24日 G7広島サミット取材報告「C7が首脳宣言を論評！市民セクターから見たG7とは？」

<https://www.youtube.com/watch?v=Djm-Qls4jsA&t=200s>

2023年5月29日 Ep.19「G7広島サミットで何が？国際会議取材の舞台裏を大公開」

<https://www.youtube.com/watch?v=-2HGXeMZQ04>

(以上)